

NS-5X

NATURAL SOUND SPEAKER SYSTEM

取扱説明書



YAMAHA

ご使用の前に必ずお読みください。

ごあいさつ

このたびはヤマハ・スピーカー・システムNS-5Xをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。NS-5Xの優れた性能を充分に発揮させ、長年支障なくお使いいただるために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくださいますようお願いいたします。

設置場所及びご使用上のご注意



スピーカーシステムの設置場所は、転倒、落下などの事故の発生しない所を選んでください。



スピーカーの背面を固い壁などに近づけて設置し、前面にガラス戸や固い壁などがある場合は共振・反射を防ぐため、聞く側に厚手のカーテンを掛けるなどしてください。



スピーカーをレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置するとハウリング（音の悪循環）を起こすことがありますのでご注意ください。



キャビネットの変色・変形を防ぐため、直射日光や湿気の多い所でのご使用はできるだけ避けるようにしてください。



スピーカーには強力なマグネットが使われていますので、テレビ・時計・磁気テープなどの近くには置かないでください。



ご使用になるアンプによって出力端子が異なることがありますので、接続を間違なく行なうためにアンプの取扱説明書で確認してください。



スピーカーシステムの許容入力以上の出力をもつアンプを使用される場合は、スピーカー保護のためスピーカーにミュージック許容入力以上の過大入力が入らないようご注意ください。ボイスコイル等の破損原因になります。



キャビネットを美しく保つため、キャビネットに水気およびアルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤等をかけたり、ビニール系の敷き物類をのせないようご注意ください。お手入れの際は、必ず柔らかい布でからぶきするようにしてください。



お買求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありますと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことになりますので、充分ご注意ください。



この取扱説明書をお読みになりました後も、保証書と共に大切に保管してください。

他の機器との正しい接続

アンプとの接続

接続する前に：アンプの電源を切ってください。

●接続方法

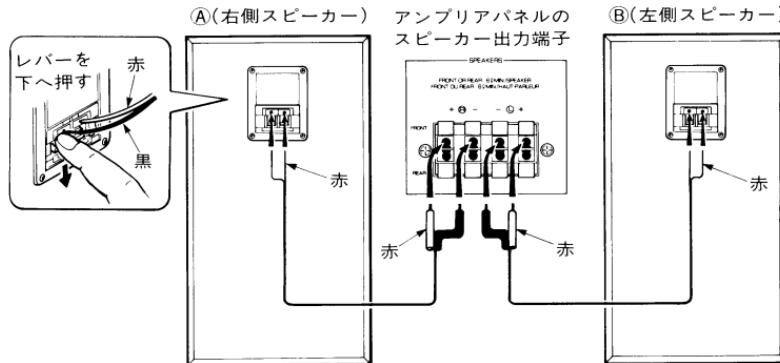
右側スピーカーはアンプのスピーカー出力端子のR側と接続し、左側スピーカーはL側と接続します。付属のスピーカーコードの赤色側で+端子を接続し、黒色側で-端子をそれぞれ接続します。接続は図のように端子下のレバーを下に押し、スピーカーコードの芯線部分をさし込み、レバーから指を離すとコードがロックされます。

—アンプとの接続—

※左右のスピーカーの極性が違いますと、低音のそこなわれた不自然な再生音になってしまいます。ご注意ください。

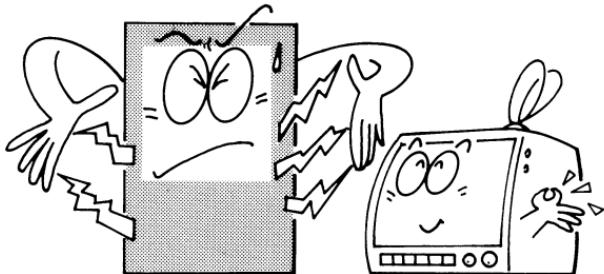
●セッティング

NS-5Xは、下図のように、Ⓐを右側、Ⓑを左側にセットする場合を標準としていますが、リスニング条件によって逆にセットしていただいたほうが、より良く再生される場合もありますので、お好みに応じてセットして下さい。



漏洩磁束低減機能

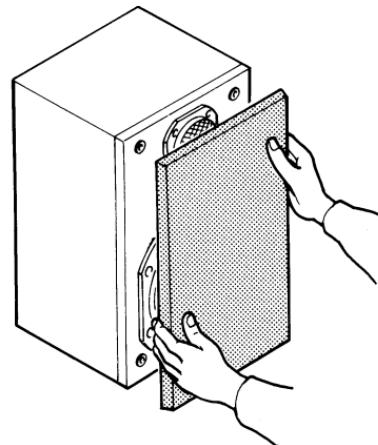
このスピーカーは、テレビや他の機器への磁力の干渉を防ぐ漏洩磁束低減機能を採用しています。これにより他の機器へ悪影響を及ぼすことなく、存分にその性能を發揮させてクリアなサウンドをお楽しみいただけます。



※地磁気の影響やテレビの種類等によっては、映像に色ムラを生じることがありますので、この様な場合はテレビより7~8cm以上離して御使用ください。

フロントグリルの脱着

スピーカーシステム前面のサランネットは、取りはずすことができます。取りはずし方は、左図のようにサランネットの両側を持って手前に引くと取りはずすことができます。取り付けは、サランネットに付いているストライク（プラスチック状の突起）とエンクロジャー側キャッチャー（ストライク受け部）とを合わせて軽く押し込んでください。



参考仕様

型式 2 way バスレフ式・ブックシェルフ
漏洩磁束低減タイプ

ラウンドバッフルインラインセンター

使用スピーカー ウーファー JA1808(18cm SFCCコーン)
ツイーター JA0581(3.5cm HNチタンドーム)

許容入力 70W

ミュージック許容入力 140W

出力音圧レベル 92dB/W/m

再生周波数帯域 60Hz～25kHz

インピーダンス 6 Ω

クロスオーバー 2 kHz(12dB/OCT)

寸法(W×H×D)mm 225×370×229

重量 5.4kg

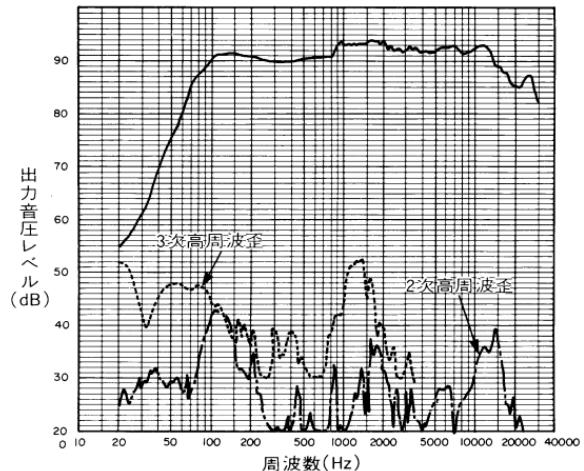
付属品 スピーカーコード×1/台

※上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがございます。

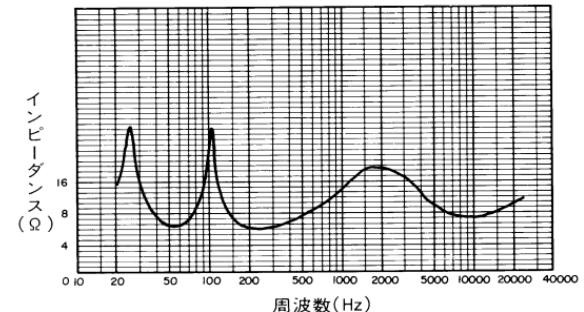
※上記の許容入力、ミュージック許容入力の値以上の入力を加えないよう充分ご注意ください。

特性図

■周波数特性/高調波歪特性



■インピーダンス特性



ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より 1 年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後 8 年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示しております。

●修理可能の範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますのでエージングの差による音色の違いが出る場合があります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道 〒065 札幌市東区本町1条9-3

TEL(011)781-3621

仙 台 〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F

TEL(0222)36-0249

東 京 〒211 川崎市中原区木月1184

TEL(044)434-3100

新 潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F

TEL(0252)43-4321

浜 松 〒435 浜松市上西町911番地 日本楽器宮竹工場内北側

TEL(0534)65-6711

名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2

日本楽器名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230

大 阪 〒555 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内

TEL(06)877-5262

四 国 〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内

TEL(0878)22-3045

広 島 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39

TEL(082)874-3787

九 州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

北海道 〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内

ステレオ北海道営業所 TEL(011)512-6115

仙 台 〒980 仙台市太町2-2-10 住友生命仙台青葉台通ビル4F

ステレオ仙台営業所 TEL(0222)23-1376

東 京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F

ステレオ首都圏営業所 TEL(03)255-5691

ステレオ神田営業所 TEL(03)255-6767

ステレオ北関東営業所 TEL(03)255-1825

ステレオ東京営業所 TEL(03)255-2302

名古屋 〒464 名古屋市千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内

ステレオ名古屋営業所 TEL(052)782-7551

大 阪 〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内

ステレオ関西営業所 TEL(06)647-6411

ステレオ大阪営業所 TEL(06)647-6411

広 島 〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いよぎん広島ビル内

ステレオ中四国営業所 TEL(082)244-3745

九 州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

ステレオ九州営業所 TEL(092)472-2131

本 社 〒430 浜松市中沢町10-1

ステレオ事業部 国内営業部 TEL(0534)60-3421

日本楽器製造株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

ホームページアクトロニクス事業本部

オーディオ事業部国内営業部 TEL.(0534)60-3421

管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。